

# 取組事例 2

## あんずの家 (令和4年度実施)

【概要】 定員20名、就労継続支援B型事業所

【主な生産活動】

- ① 弁当・惣菜
- ② 和洋菓子
- ③ ピクルス、漬物
- ④ 農福連携・商福連携による共同開発商品・受託生産



## コンサルタント派遣を希望した理由

- ▼ 経営の基本を学び、現状を把握したうえで、課題を整理したい。
- ▼ 農福連携、商福連携など色々な取組を行っているが、事業にメリハリをつけたい。
- ▼ 工賃をコロナ前の水準に戻し、更に上げたい！
- ▼ 組織として基盤の強化を図り、レベルアップしたい！

目標工賃  
16,000円

## 事業所の強み



- ▼ 利用者が各部門で何らかの作業に関われる。
- ▼ 利用者が戦力となり、大量生産や大量注文に対応できる生産力がある。
- ▼ 利用者の勤労意欲が高い。
- ▼ 高品質で低価格の商品が多く、家庭的で親しみやすい味がお客様に支持されている。
- ▼ 自店舗、区役所売店など安定した販路を持っている。
- ▼ 新しいことに挑戦する機動力がある。
- ▼ 商品開発力がある。

## 課題

### 「自主製品の見直し、強化」

- ▼ 弁当・惣菜の売上・利益向上  
→ 原価確認、価格改定
- ▼ 価格改定を含む菓子のリニューアル
- ▼ 設備強化により、品質向上と生産性向上  
→ 販売数の多い人気商品の製造販売の強化



## 工賃向上を目指して取り組んだこと

- <プロジェクト①> 経営の基本知識に基づく現状分析
- ・ 主力商品の原価を計算
  - ・ 販売価格が見合っているのか検討
  - ・ POSレジを導入し、統計等の活用で販売数や原価データを集積
- <プロジェクト②> 中期、短期の工賃向上計画を作成
- ・ 収支計画の作成
- <プロジェクト③> 自主生産品の弁当・惣菜・菓子の売上向上  
利益改善に向けた方策検討・実行
- ・ 主力商品の原価に見合った価格改定や形態見直し
  - ・ 利益率の算出方法を学び、実践
- <プロジェクト④> 工賃向上・経営力向上に向けたPDCAの実践
- ・ 「PLAN」はおおまかに決定
  - ・ 「DO」に移行しながらサイクルを軌道に



## 取組の成果・気づいたこと・良かったこと

- ▼ わかってはいたが、これまでやらなかったこと、できなかったことに取り組むことができた。
- ▼ 全商品の原価計算をすることで、新商品開発においても原価を真っ先に考えるようになった。
- ▼ モチベーションが高まったことで、新商品開発に意欲的に取り組めるようになった。  
(新商品：紅白うさぎまんじゅうの開発 → 紅白のセット販売で売上げ倍増！)
- ▼ 利用者の変化 自分で作った商品 + 完売盛況 = 楽しみUP！ やる気UP！

目標工賃  
16,000円

R6工賃  
20,000円



## これから取り組みたいと考えている皆さんへ応援メッセージ

- ▼ 1つずつ目標を達成するノウハウとやる気を学ぶことができました。
- ▼ 否定的なアドバイスは一切ありません！ 数字ばかり求められることも一切ありません！
- ▼ 最終的に実行するかどうかを決めるのは、コンサルではなく事業所自身！
- ▼ 事業所がどうなりたいたいのかを伝えれば、大きな力になってくれます。



練馬区

障害者施策推進課